

薬物乱用防止キャンペーンを実施しました

11月17日(日)に花園中央公園にて薬物乱用防止キャンペーンを行いました。キャンペーンに先立ち公衆衛生協力会より五島会長が「覚醒剤や大麻などの薬物乱用については、近年、SNS などより、多くの人が容易に薬物を入手できる環境となり、サラリーマンや主婦、学生にまでずそ野が広がっており、特に乱用者の低年齢化が懸念されております。

その根本的な解決方法としましては、薬物乱用の危険性について、いかに啓発できるかが、大きな鍵になると考えております。

薬物乱用は、乱用者個人の問題だけではなく、社会全体の問題です。人格喪失や家庭崩壊だけでなく、第三者の生命に危害を及ぼします。薬物乱用の有害性をしっかり訴え、薬物乱用の根絶に向けて取り組みましょう。

東大阪市公衆衛生協力会は、会の理念に基づき、引き続き存在感のある活動を推進していく所存ですので、今後とも、本会の活動に、ご理解ご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。」と挨拶されました。

また当日は本協力会の会員及び市職員の総勢27人で「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止活動において、市民一人一人の薬物乱用問題に関する意識を高めることを目的にした啓発活動を行いました。

